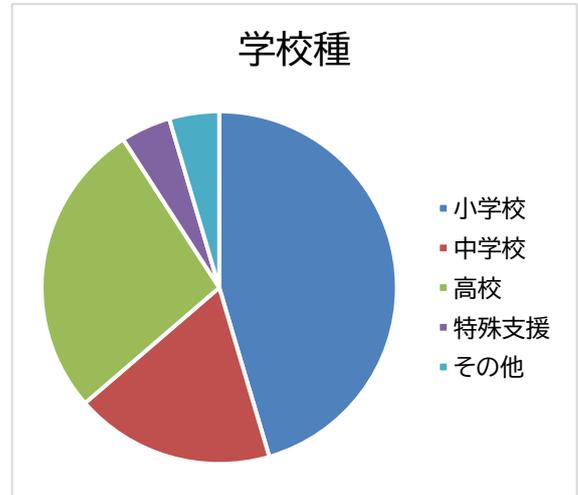


教員免許状更新講習（兵庫教育大学） アンケート集計結果
 （7/30 『知っておきたい！地図の作り方と使い方、ハザードマップの作り方まで』、
 関西支部回収分）

1. 参加者の特徴

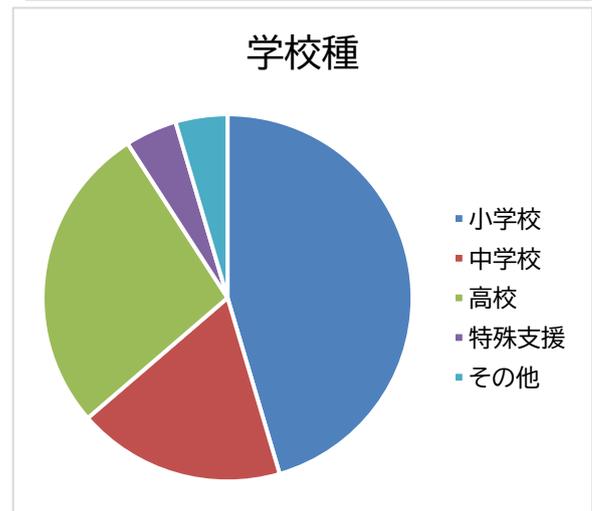
(1) 学校種別

学校種別	回答数
小学校	10
中学校	4
高等学校	6
特別支援学校	1
無記入	1



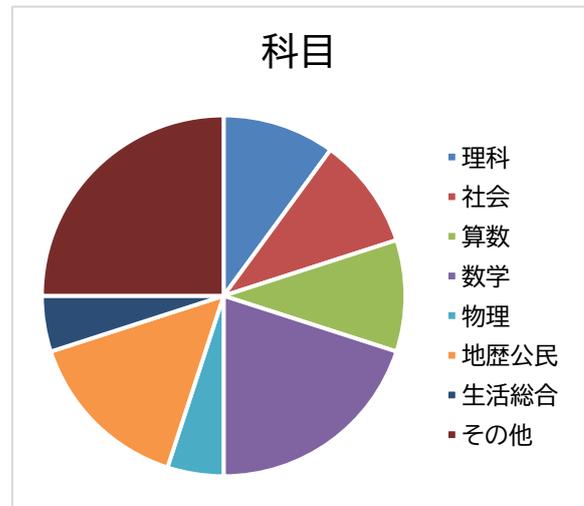
(2) 職名

教諭	19
講師	3
学校事務職員	0



(3) 担当教科等

理科	2
社会	2
算数	2
数学	4
物理	1
地歴公民	3
生活総合	1
その他	5



2. 講習を受けてみたい対象

防災学習(地震)	7
防災学習(水害・土砂)	8
上下水道	4
土木遺産	6
資源再生	3
持続的な開発	8
地域の交通	10
身近な公共施設	5

3. 講習内容で評価できること（理解できることなど）

- ハザードマップの作り方（シナリオ）、等高線の実習は大変分かりやすかった。
- パソコンで今後役に立つページを教わり、練習させてもらえたことが良かった。
- 防災マップ作成に参加することが防災意識の向上につながるということがわかったこと。
- 作成したり、体を動かす演習があり、楽しく取り組むことができた。
- 等高線はややもすると見にくく適当に流しがちでしたが、作業や実体視を加えると効果的かと思った。
- とてもわかりやすく、授業や指導の参考を得ました。
- 国土地理院の地図の活用方法がわかり、今後指導や生活の中で活用しようと強く感じました。
- 地図データを実際に使用しながらできたので理解しやすかった。
- 国土地理院地図のすごさ、ぜひ活用してみようと思った。
- 資料で教えて頂いたことを実際に見せていただいたり、操作したりしたことでわかりやすかった。
- 国土地理院の Web サイトで公開されている地図を用いた作図方法や活用のヒントを知ることができた。
- パソコンを使って演習できたこと。
- 国土地理院の地図が生活科や社会・総合などの学習で使えることがわかったこと。
- 色々な情報が Web で与えられていることで自分たちでハザードマップを考えていけること。
- 地形模型が予想以上に立体的に見えた。小学 4 年社会で等高線が出てくるのでやってみようと思った。
- 実習の時間はやはり楽しい時間であった。
- 国土地理院の HP は知っていたが具体的な活用方法は知らなかったので有益でした。これを授業に活用できるようにも策いていきたいです。
- 座学だけでは疲れるので本日のように PC を使ったり、体験したりするのはいいと思いました。
- 私は歴史専門なので久々に地理の内容に触れました。これからの地理総合を授業する時の導入等に生かしたいです。
- 今まで書物等によるところが多かったので専門的なお話とてもリフレッシュできました。
- ハザードマップが意外と簡単に作れることがわかり驚きました。地図についての理解が深まり、今後活用できそうです。実習がとてもわかりやすかった。

- 地図を見ながら操作で来たのでわかりやすかった。子供たちと見てみようと思います。
- 等高線の実験が面白かった。子供たちが実際にやると理解が深まると思う。
- ハザードマップの作り方。
- 地図の作り方，地図の活用法
- ハザードマップの仕組みや使い方，また国土地理院の地図の効果的な活用法についてよくわかった。

4. 内容で改善すべきこと（わかりにくかったことなど）

- ノートパソコンにマウスをつけて欲しい。タッチパッドは使いにくい。
- パソコン操作の演習がもう少しあればいいと思った。
- 限られた時間の中で仕方が無いと思うが，パソコンの操作をゆっくりとできる時間があればいいと思った。
- もっと詳しく操作方法（ベクターなどの）を知りたかった。
- Web サイトでの実習時間をもっと多くしてほしい。
- ハザードマップなど，やり方だけ教えて 10 分間それぞれでやらせるとよかったかもしれませんね。

以上